

 佐久市議会だより

ギカイの窓

2022年(令和4年)2月1日 No.67

市民の広場 佐久市建設業協会

2/19(土) 議会報告・意見交換会
3/9(水) 議場コンサート
詳しくは18ページをご覧ください。

トピックス

令和3年第3回臨時会
令和3年12月定例会
19名の議員が市政を問いました 一般質問

表紙

暖かい冬

いでのの
作成者 井出暖乃さん

議会だより表紙大募集中!!

詳しくは19ページを
ご覧ください

佐久市建設業協会

平成26年の大雪や令和元年東日本台風（台風19号）災害などの自然災害に対して、最前線で復旧に取り組んでいただいた地元建設業の皆さん。
今回は、佐久市建設業協会会長を始め、6名の若手経営者の皆様からお話を伺いました。

「地域への社会貢献」という高い志のもと、市民から必要とされ、市民に安心と安全をお届けできる協会を目指しています

●協会の発足と会員数は

現在協会に加入している建設会社は101社です。市町村合併以前からそれぞれの旧市町村に協会がありました。新佐久市発足に伴い協会も合併し現在の形

になっています。当初は市との

交渉団体でありましたが、今では

ボランティア活動等も行い、

また、技術力の向上を目指して、

お互いに情報交換しながら切磋

琢磨しています。

●主な活動内容は

協会主催の美化活動として、佐久平駅周辺のごみ拾いには毎年100名を超える会員が集まり、



副会長
高野 桂 さん



会 長
丸山 悦二郎 さん



副会長
高橋 剛 さん



柳澤 隆二郎 さん



伊坂 淳一 さん



霰田 直輝 さん



池田 隼士 さん



協会員による佐久平駅前ボランティア活動（ごみ拾いや草取りなど）

草取り・植樹など継続した取り組みをしています。また、災害時においては迅速に対応するべく、情報共有を適切に図り、被災現場の状況に応じて会員同士の調整を行っています。

●令和元年東日本台風災害では

災害発生当時は狭い川の氾濫や民家が冠水し、膨大な復旧依頼が市役所や県の建設事務所からありました。大型の重機やトラックが現場まで入り込めず大変苦労をした会社がある一方、災害を予測し、予め重機をトラックに乗せ、現場社員の班編成まで実施していたため、見回りや緊急な依頼に対して災害現場までスムーズに行くことができました。また、現場によっては被災箇所をどの程度に復旧してよいかなど、一刻を争う状況の変化の中で、行

政とのやり取りに課題を感じました。また、被災箇所があまりにも多く、行政からの電話依頼だけでは現場の状況が把握できずに、限られた人数での対応の難しさもありました。

●議会や行政に望むことは

建設業界も高齢化と人手不足により中長期の担い手確保が大きな課題です。提出書類の簡素化や申請書類などのIT化による業務の効率化を図り、生産性の向上に繋げることが必要です。また、除雪や災害時に人手を十分に確保しておくためにも、十分な受注工事の確保と作業量の平準化が求められ「フレックス方式」による工事の受注も必要です。

●市民の皆さんに伝えたいことは

建設業はお客様からの仕事の依頼に加えて、除雪や災害対応などの活動を通して地域貢献をしています。このやりがいのある我々建設業界に関心をもっていただきたいと思えます。

令和3年 第3回臨時会

令和3年第3回臨時会を10月29日に開き、事件案4件及び予算案1件を審議しました。

佐久臼田インター工業団地用地の売却に関わる契約等の議案、また、新型コロナワクチンの3回目の接種を希望する方に対して行う追加接種経費や、市道上の事故における損害賠償金に係る補正予算案について審査を行い、全て原案可決と決しました。

令和3年佐久市議会第3回臨時会 議案審議結果

議案番号	議案名	審議結果
108	佐久臼田インター工業団地用地（E-1区画）の処分について	◎
109	佐久臼田インター工業団地用地（W-1区画）の処分について	◎
110	佐久臼田インター工業団地用地（W-2区画）の処分について	◎
111	市道上の事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	◎
112	令和3年度佐久市一般会計補正予算（第10号）について	◎

【結果の表示】 ◎全会一致で可決

令和3年 12月定例会

令和3年12月定例会を11月24日から12月20日までの27日間の会期で開きました。条例改正案や補正予算案など31件を可決、意見書案1件を可決しました。



提出された議案の詳細はこちらをご覧ください。

令和3年佐久市議会12月定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	審議結果
113	佐久市税条例の一部を改正する条例の制定について	◎
114	佐久市望月地区診療所条例の一部を改正する条例の制定について	◎
115	佐久市男女共同参画推進条例の一部を改正する条例の制定について	◎
116	佐久市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	◎
117	佐久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	◎
118	佐久市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	◎
119	佐久市公園条例の一部を改正する条例の制定について	◎
120	布施地域コミュニティセンターの指定管理者の指定について	◎
121	佐久市・軽井沢町清掃施設組合理約の変更について	◎
122	佐久市子ども未来館の指定管理者の指定について	◎
123	佐久市春日交流センターの指定管理者の指定について	◎
124	佐久市望月生きがいセンターの指定管理者の指定について	◎
125	野沢商店街コミュニティセンターの指定管理者の指定について	◎

126	ヘルシーテラス佐久南の指定管理者の指定について	○
127	市道の路線認定について	○
128	令和3年度臼田総合運動公園野球場グラウンド及びテニスコート整備工事請負契約の締結について	○
129	佐久市佐久平交流センターの指定管理者の指定について	○
130	駒場公園の指定管理者の指定について	○
131	体育施設37施設の指定管理者の指定について	○
132	佐久総合運動公園の指定管理者の指定について	○
133	令和3年度佐久市一般会計補正予算（第11号）について	○
134	令和3年度佐久市一般会計補正予算（第13号）について	○
135	令和3年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計予算について	○
136	令和3年度佐久市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○
137	令和3年度佐久市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○
138	令和3年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計補正予算（第2号）について	○
139	令和3年度佐久市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○
140	令和3年度佐久市下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	○
141	佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○
142	佐久市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○
143	令和3年度佐久市一般会計補正予算（第12号）について	○
意見書案 第6号	消費税インボイス制度の延期を求める意見書の提出について	○

【結果の表示】 ○全会一致で可決

陳情の審議結果

番 号	陳情者	要 旨	審議結果
令和3年 陳情第5号	佐久市瀬戸1177-10 佐久民主商工会内 消費税廃止佐久地区各界連絡会 代表 遠藤 勇	消費税インボイス制度中止を求める陳情	取下げ議決
令和3年 陳情第11号	(陳情者の申出により住所非公開) 中井 伶美 外1名	選択的夫婦別姓制度の法制化について議論を求 める意見書の提出を要望する陳情	取下げ議決
令和3年 陳情第13号	佐久市瀬戸1177-10 佐久民主商工会内 消費税廃止佐久地区各界連絡会 代表 遠藤 勇	消費税インボイス制度延期を求める陳情	採 択
令和3年 陳情第14号	佐久市下越211-1 農民会館内 佐久農民センター 会長 高橋 達夫	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策 を求める陳情	趣旨採択
令和3年 陳情第15号	(陳情者の申出により住所非公開) 中井 伶美 外1名	選択的夫婦別姓制度の法制化について議論を深 めることを求める意見書の提出を要望する陳情	趣旨採択

全ての議案・陳情において全会一致で決しましたので賛否一覧はありません。

常 任 委 員 会 審 査 報 告

条例案3件、事件案6件の計9件、新規陳情1件を審査

総務文教委員会 委員長 三石 義文

佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正、佐久市税条例の一部を改正する条例の改正、佐久平交流センターの指定管理者の指定、駒場公園の指定管理者の指定について。

今回の条例改正については、長野県職員の給与改定に準じて、支給月数を改定し、本年12月の期末手当の減額の総額は、全体で約5、400万円程度と確認。佐久市税条例の一部を改正する条例は過疎地域内の産業振興を図るために事業用資産を取得した場合、固定資産税の課税免除に係る特例を定めたものであることを確認。駒場公園の指定管理者については長野運動公園総合運動場、県立武道館などを運営しており、自主事業として水泳教室を計画していることを確認。「消費税インボイス制度延期を求める陳情」は全会一致で採択。



浅科図書館（天窓修繕）

条例案2件、事件案4件の計6件、新規陳情1件を審査

経済建設委員会 委員長 大塚 雄一

公園条例の一部改正などの条例案2件及びヘルシーテラス佐久南の指定管理者の指定などの事件案4件を原案可決。また、コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める陳情は趣旨採択と決しました。

ヘルシーテラス佐久南の指定管理者の指定の審査においては、候補者であるJ A 佐久浅間について、飲食の提供が可能かなど、質疑応答を重ね確認し、原案可決と決しました。

陳情審査においては、「陳情内容のとおり、米の過剰在庫についての対策を国に求めるべきであるため、採択」との意見や、「米価については現状で良いわけではなく、上げていく必要がある。陳情の趣旨については理解できるため、趣旨採択」との意見も出され、挙手採決を行った結果、趣旨採択と決しました。



佐久平クリーンセンターの現状について現地視察も行いました

条例案4件、事件案3件の計7件を原案可決。新規陳情1件を趣旨採択

社会委員会 委員長 小林 歳春

佐久市男女共同参画推進、望月地区診療所、国民健康保険の各条例の一部を改正制定する議案を審査。子どもの現状調査のため、行政視察を行い、佐久児童相談所、児童養護施設軽井沢学園にも訪問し、意見交換しました。

長者原無医地区出張診療所の廃止に関し、地元区の了解を得ていることや、高度な医療機関への受診体制が整っていることを確認。佐久平女性大学（仮称）の設置について年齢は18歳以上を対象に1年制を想定している事を確認。通勤通学者もいることを考え参加しやすい環境づくりに努めるよう要望。健康保険法施行の一部改正は出産育児一時金の額が変更される事に伴うものと、市内での出産費用が平均50万円から54万円であることを確認。委員からは「実際の費用にかかる金額に近づけるよう検討してもらいたい」との意見が出されました。



児童養護施設軽井沢学園で意見交換



市民生活に直結する予算を可決しました

ふるさと納税やクラウドファンディング寄附金に伴う経費、災害復旧等の補正予算案を審査

予算委員会 委員長 土屋 俊 重

令和3年度の一般会計補正予算と特別会計補正予算の予算案9件を全会一致で原案可決。補正内容は、ふるさと納税やクラウドファンディングの寄附金充当事業費、災害復旧等の追加補正など。

この12月定例会での議決で、一般会計予算の総額は約584億円になりました。

今回の補正は、ふるさと納税やクラウドファンディング寄附金の充当事業費、8月の大雨による農業土木の災害復旧経費、佐久平女性大学（仮称）開講に向けた準備経費、工事の平準化を図るための債務負担行為補正が主な内容でした。

付託された予算案9件は、予算委員会の各分科会による審査も経て、慎重審議の結果、全会一致で原案可決と決し、本会議で予算委員会における審査結果の報告を行いました。



予算委員会での審査内容を本会議において報告

総務文教分科会 分科会長 三石 義文

スポーツ全国大会出場交付金（駅伝）について、300万円という金額が適正額なのか、他のスポーツや文化活動についても、市内の活動を盛り上げる意味から補助金について考える時期ではないか。また、抜本的な見直しをとの意見。企画調整費、ふるさと納税寄付金に関連して返礼品については、品物だけでなく

経済建設分科会 分科会長 大塚 雄一

現年農業土木単独災害復旧事業費について、令和3年8月12日から15日にかけて降り続いた豪雨により被災した市内の農地、農業用施設の復旧事業にかかる増額補正であることを確認しました。

分科員からは、「予算の補正により事業量が増える中、年度末にかけては繰越しも視野に事業を進めていると思うが、予算編成の際

社会分科会 分科会長 小林 歳春

男女共同参画推進事業費については、佐久平女性大学（仮称）の受講生募集に係わる準備経費であり、報償費は開講に向けてアドバイザーへの謝礼と、人権男女共生フェスティバルに合わせて、大学周知を兼ねた模擬講座を行うための講師の謝礼であることを確認。障害者地域生活支援事業費は、点字用プリン

く北斗の拳のバスで市内観光資源を活用したツアーなどの検討を要望。史跡龍岡城跡保存整備・大給恒願彰事業費の減額については、堀の堆積土が予想以上に厚く、石垣の測量等において、事業成果が十分に得られない恐れがあることから事業の一部を次年度以降に実施など、整備スケジュール見直しによる減額。

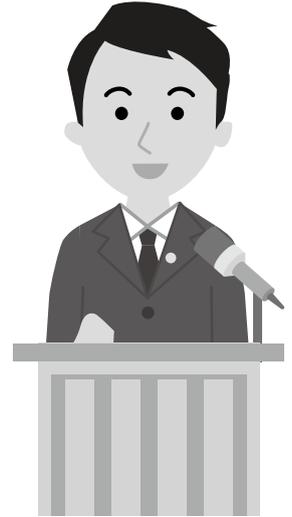
には、債務負担行為（※）についても考えていただき、災害復旧に尽力いただいている土木事業者に負担とならないよう調整をはかっていただきたい。」との意見が出されました。

※債務負担行為とは、事業が複数年にわたる場合、後年度の債務を予算で定めておくことをいう。

ター更新のための経費であることを確認。先進地でのプリンター活用方法を探り、視覚障害者の生活が便利になるような取り組みをしてほしいと要望。障害者支援施設日田学園関係では、特殊建築物検査を行う経費及び、寄付金を特別会計へ繰り入れ、居室等へエアコンを設置するための経費であることを確認。

19名の議員が市政を問いました

一般質問



- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また、正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



動画配信 QRコード

一般質問とは
議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質することをいいます。

第四次佐久市男女共同参画プラン・ 子どもの貧困支援・中山道の観光振興

◆第四次佐久市男女共同参画プラン
Q 佐久平女性大学（仮称）の活動内容は。

A 市内に居住または通勤、通学する18歳以上の女性を対象とし、定員20名程度で「自己を高める講座」と「市民生活や市政運営に関する講座」の他、議論すると言った「実践を伴う」講座等も予定している。

◆子どもの貧困に対する支援
Q フードバンクの現状と展望は。

A 社会福祉協議会が行うフードドライブ事業の周知などの広報支援や「まいさぼ佐久市」と共同でフードドライブを実施している。関係団体との更なる連携により活動を推進していく。

Q 子ども食堂の現状と展望は。

A 現在活動している団体として、猿久保の「こどもカフェ・トコトコ」・佐久市社会福祉協議会が事務局の「さーくちゃんち（家）」・岩村田本町商店街振

興組合の「子ども第三の居場所」がある。情報周知の支援をすると共に連携協力を図っていく。

◆中山道の観光振興
Q 観光振興の基本的な考えは。

A 佐久市観光振興ビジョンにおける4本柱に基づき推進を図っている。

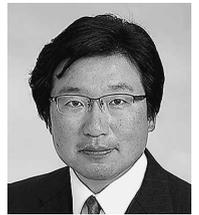
Q 資料館の整備はできないか。

A 現在は新たな資料館の整備予定はないが、望月歴史民俗資料館の中山道に関する展示等の充実を図っていく。



たかやなぎ ひろゆき
高柳 博行

幹線道路網と 安心安全な道路の整備について



こばやし たかゆき
小林 貴幸

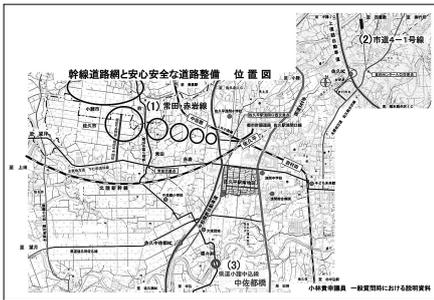
Q 常田・赤岩線の整備について。佐久平駅浅間口から中部横断道を交差し、常田地籍の県道小諸中込線を通過し、小諸市が計画する佐久平駅へのアクセス道路と接続する路線で、整備について小諸市や県と協議を行っている。市で考える構想路線の接続先となる小諸市の構想路線が県道小諸中込線に並行することから、県道のバイパスとしての整備の可能性について小諸市と共に県と協議を行い、県では県道の常田地籍と小諸市の市地籍の集落内は住宅などが連坦していることから現道の拡幅改良は大変困難であり代替道路整備の必要性を認識していただいている。市としては、県道の代替道路として市道2-5号線及び9-1号線の整備をすることが、常田集落内の通過交通と主要地方道下仁田浅科線の交通量低減を図る上で必要と認識して

いる。引き続き事業の推進に向けて、小諸市との連携を密にし、県と協議を行い、地元の整備推進協議会と調整を行っていく。小田井農道の西屋敷交差点から食肉センター入口交差点までの間の濁川交差点部分の道路拡幅について。

A 令和4年度に、道路改良整備に向けた河川構造物等の調査を行う予定である。

◆その他の質問項目

・県道小諸中込線の中佐都橋の交通安全対策について



答弁時の市側提示資料

佐久市成人式、認知症、香坂山遺跡について



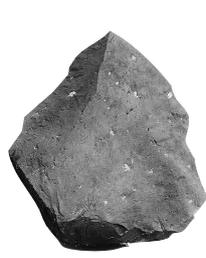
きうち よしはる
木内 義春

Q 佐久市成人式について。令和3年成人式を1月3日に、令和4年成人式を1月10日に行います。長野県立武道館に於いて十分な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施した上、午前と午後に分けて行います。

A 佐久市の認知症対策について。国の認知症施策推進大綱（新オレンジプラン）に対して、佐久市老人福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定し、4項目の施策を展開しています。1、認知症の普及啓発・本人発信支援 2、認知症予防 3、医療・ケア・介護サービス・介護者に対する支援 4、認知症バリアフリー推進・若年性認知症支援の4点です。佐久市は、認知症になっても、いつまでもその人らしい人生を送る事が出来る、誰もが住みやすい地域づくりを推進して行きます。

Q 香坂山遺跡について。香坂山遺跡は、3万6千8百年前（後期旧石器時代）の日本最古の遺跡です。奈良文化財研究所の国武先生の学術調査で、大型石刃、尖頭形剥片、小石刃の石器群が発見されました。これらは、ユーラシア大陸で出土している石器と、組成・技術ともに酷似しています。今後3年間で国への申請に必要な包括説明書を作り、令和6年度の国史跡指定を目指していきます。

A 香坂山遺跡は、3万6千8百年前（後期旧石器時代）の日本最古の遺跡です。奈良文化財研究所の国武先生の学術調査で、大型石刃、尖頭形剥片、小石刃の石器群が発見されました。これらは、ユーラシア大陸で出土している石器と、組成・技術ともに酷似しています。今後3年間で国への申請に必要な包括説明書を作り、令和6年度の国史跡指定を目指していきます。



大型石刃
大木文彦氏撮影



尖頭型剥片



小石刃

Q 香坂山遺跡国史跡指定申請事

誰もが当たり前前に暮らせる街に・多面的な治水対策・子ども達に大切な給食



ないとう ゆうこ
内藤 祐子

◆医療的ケア児支援状況と課題

Q 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行となった。今年度からの広域連合医療的ケア児等コーディネーターの課題は。

A 切れ目のない、連携した支援体制が必要。まだ地域に認知されていない。

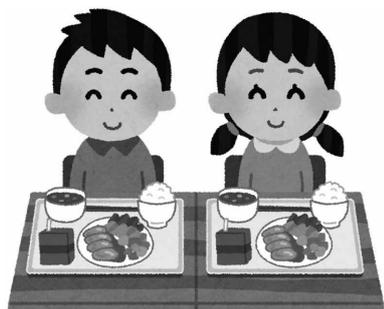
Q 医療的ケア児の実態調査が必要ではないか。

A 確かに重要。コーディネーターとも相談しながら検討していきたい。

◆多面的な防災治水対策を

Q 桜井遊水地計画地は、千曲川カーブの内側で、河床勾配が急であり、遊水地として適性か。

A 佐久建設事務所に確認したところ、「予定地は、河川勾配100分の1程度で、緩いカーブの内側になるが、水理解析を行い、機能が果たせる場所か確認済みで、適性と判断している。年度



安心・安全、楽しみな給食

内には水理模型実験で検証を行う。」と伺っている。

◆学校・保育所の給食について、市民への情報提供と丁寧な協議の場を

Q 民間委託方針を知らない市民も多い中、93件のパブコメが寄せられた。必要な資料提示し、きめ細かな説明会をするべき。

A 市民意見から、理解が十分ではなく、不安が先行している事が分かった。導入のタイミングについては、一旦留まり、再検討していく。

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種について



しみず ひでさぶろう
清水 秀三郎

Q 市内におけるワクチン接種の現況について。

A 11月30日現在、立科町と合わせた1回目接種率90・3%。2回目接種率88・4%。現在もひと月に200〜300名の接種が行える体制を確保している。月平均70名いる12歳を迎えた新たな対象者には誕生日の翌月上旬に接種券と予約方法やワクチンの効果等を載せたパンフレットを郵送している。海外渡航のためのワクチン接種証明書の申請状況は215件。第6波に備えた取り組みとして、これまでと同様に国、県や関係機関と連携を図っている。

Q ワクチンの追加接種について。

A 使用するワクチンは、ファイザー社と今後承認となるモデルナ社。2回目接種完了からの接種間隔は8か月以上。

Q 追加接種の体制について。

市内各医師会の協力のもと、



市内のワクチンを保管する浅間病院内の超低温冷凍庫

立科町と合同で行う。医療従事者は12月から勤務する医療機関等で接種開始。高齢者への接種は2月から集団接種を中心とした個別接種の併用体制によって行い、集団接種会場は市内の長野県立武道館と立科町の老人福祉センターで、個別接種は市内6病院と立科町の2病院で実施予定。速やかに接種の機会を提供するため、予約を不要とする接種日時や会場の指定方式の導入を検討している。今後も国の方針に沿って、県・佐久医師会・医療機関と連携しながら接種機会をお届けする。

増え続けるシカは調査と対策が必要！
給食の民間委託延期と今後について



よしかわ ともこ
吉川 友子

◆ニホンジカについて

Q ニホンジカが増えて多くの被害が発生している。まずは生息調査が必要と考えるが、行なっているか。

A 市独自の調査はしていない。生息が多いと思われる箇所、ライトを当てて頭数などを調査するライトセンサスを県に要請し、来年度実施予定。

Q シカによる被害は農作物の被害はもちろん、森林への影響も大きい。土砂崩れなど災害の危険性もあるので、広く市民への情報提供などが必要と考える。

A 地域を巻き込んだ取り組みを実施し、情報の共有ができるよう関係機関と連携し、充実を図っていきたい。

◆学校・保育所の給食について

Q 調理業務の民間委託についてパブコメや職員アンケートの内容や今後の予定は。

A 一定数の肯定的な意見もあつ

たが、食の安全面や質の低下、職員との連携など不安や懸念の声が多くあった。民間委託導入の時期については再検討する。

Q 浅科・望月給食センターの統合について、今後の予定は。

A 施設の老朽化や児童数の減少を考え、令和8年をめどに集約化を考えた。今後進める時には説明していく。

Q 早めの意見交換と丁寧な議論が必要だと考えるがどうか。

A 説明会などで丁寧に意見を聞きながら計画策定していく。



ライトセンサスによるシカの様子

「家庭ごみの分別変更」及び「処理手数料の徴収」等ごみの諸問題



つちや ひろこ
土屋 啓子

Q 令和4年4月1日から「ごみの分別」が大きく変更されるようであるが、主な変更点とメリットについて。

A 現在埋立てごみとしている「ゴム・革製品」ヘルメットやボールペンといった「プラスチック製品」などは焼却処理の対象になる。容器包装プラスチック等資源物はこれまで通りとする。

Q 資源物以外のほとんどの品目が可燃ごみとなり、わかりやすく負担軽減になる。埋立てごみは「ガラス・陶器製品」等限られた品目にする事により、うな沢最終処分場においても埋立量が大幅に減り、延命化ができる事、また整備に伴う環境負荷や大規模な市予算の投入が避けられる。

Q 令和5年4月1日から「家庭ごみの処理手数料を徴収する」事の検討を始めるようであるが、

「なぜ徴収するのか」の経緯について。

A 現状ごみ袋に処理手数料は含まれておらず、他の自治体と比べて安価である。「分別変更」に伴い新たな焼却処理経費の増が見込まれることにより、手数料の徴収を検討している。

・検討内容 ①ごみの減量・再資源化の推進②負担の公平性確保（出すごみの量に応じて処理手数料を負担することで、ごみが増えれば負担も減る。）③ごみ処理経費の財源確保。



うな沢第2最終処分場

循環型地域活性化ポイントシステム、 災害に強い佐久市づくり防災減災事業



こがねざわ あきひで
小金沢 昭秀

◆循環型地域活性化ポイントシステム事業について

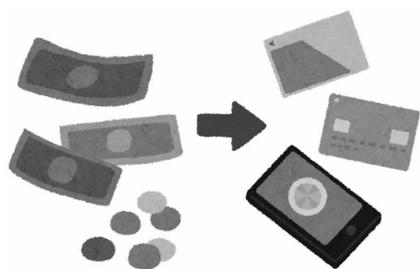
Q 循環型地域活性化ポイントシステム事業について、その構想案について伺う。

A ポストコロナでは、感染予防の観点からも非接触型のシステムにおいての消費活性化対策の実施が望ましい。キャッシュレス決済、クーポン等、多様な機能が活用可能とすることで、地域における独自のツールとして、地域内でのお金の循環を可能とし、地域商店街との活性化を図ることを期待する。

◆災害に強い佐久市づくり防災減災事業について

Q 第二次佐久市総合計画実施計画の災害に強い佐久市づくり防災減災事業に係る事業内容について伺う。

A 河川、道路についても、治山・農業用施設と同様、ビルト・バック・ベーターに取組み、災害の発



キャッシュレス化へ

◆その他の質問項目

- ・経済活動再開に伴う検査体制
- ・コロナ後を見据えた経済対策について

佐久市の農業について 佐久市のデジタル環境について



おおつか ゆういち
大塚 雄一

Q 佐久市で主に生産されている農産物の状況について伺います。

A 農産物出額で見ますと米が佐久市全体の5割弱を占めており、次に高原野菜を中心とした白菜やキャベツなどの野菜関係が約3割を占めており、次に畜産関係、果物関係となっております。

Q 今年米価が下落したが佐久市の米農家への対応を伺います。

A 国と県の支援を活用するとともに、市単独事業の主食用米との価格差を補填する水田農業構造改革対策事業を行うことにより、輸出用米や飼料用米、加工用米などの取組を一層推進して、米価の安定に努めてまいりたいと考えております。

Q 印内地区で生産されているワイン用のブドウの生産振興に向けた取り組みを伺います。

A 市として、事業者のメリットが大きい千曲川ワインバレー特区連絡協議会へ参画を打診いた



千曲川ワインバレーの特区を受けた春を待つワイン用葡萄畑

しましたところ、快くご承認いただきました。本年9月には特区の拡大申請を行っていただきました。市といたしましても、ワインブドウに関して新たな特産物品として取り組んでまいりたいと考えております。

Q 市の本庁、支所のデータ保存について伺います。

A 業務で使用しているシステムデータにつきましては、外部からの不正アクセス対策が施されたクラウド等に保存しており万全なセキュリティ対応です。

犯罪者等支援条例について こんにちはは、さようならの意味について



しろた りょう
城田 領

Q 犯罪の被害者及びその家族が、誹謗や中傷にさらされている現状を当事者の口から直接聞いたが、条例について。

A 犯罪被害者等支援条例については、県が制定する条例との整合性をはかりながら、条例制定に向け進めていきたい。

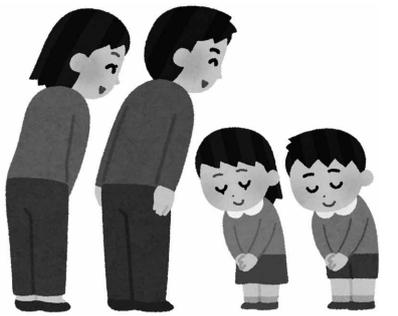
Q 「こんにちはは、さようなら」の挨拶に込められた言葉の持つ深い意味を研究者が解説しているが学校教育での挨拶について。

A 挨拶は、人格形成や人間関係づくりにおいて大変重要と捉え、指導を行っている。見守り隊や先生と子ども、子ども同士も笑顔で挨拶を交わすことで気持ちの良い一日が始まります。これからも地域、家庭、学校が一体となり、挨拶に取り組んでいきたいと考えている。

Q 佐久市の宣伝や観光の視点から考慮すると、使用料や観覧料を徴収する施設において洗浄ト

A イレ未設置は、おもてなしの配慮に欠けていると思われるが温水洗浄便座の設置状況について。

Q 観覧系7施設は、合計で様式29台中11台に設置。4施設については未設置。貸館系10施設は、160台中124台に設置。体育系40施設は183台中90台設置。32施設は未設置。社会系57施設は、372台中225台設置。37施設は未設置。予算措置もあることから各施設において状況を見ながら計画的に進めていきたい。



「こんにちは！」心を通わせる魔法のことば

第四次男女共同参画プランに関して 自殺防止対策、電話相談事業に関して



かとう ゆきこ
加藤 夕紀子

◆市における男女共同参画の視点に立った防災体制

Q 男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営についての概要は。

A 具体的に全部で7点。①女性専用更衣室確保②授乳室確保③長期化した場合、洗濯物干し場について共有スペース以外に男女別で設ける④女性専用トイレの確保⑤生理用品等女性特有の物資は女性が配布する様配慮する⑥性暴力等の相談窓口開設⑦性暴力・DV防止ポスターの掲示。

◆昨年働く女性・若年層の自殺率が上がっている

Q 自殺予防対策における電話相談事業、中学生のための陽だまりハートラインについての概要は。

A 生徒へSOSの出し方に関する教育を実施している。担当保健師への相談専用電話、中学生

のための陽だまりハートラインを開設した。緊急、かつ危険度が高い場合は学校、教育委員会等関係機関と情報共有するなど、痛みしい事故防止に努めている。担当保健師が学校へ出向き、実際に講話を行っている。その他、地区担当保健師の顔写真入りポスターを学校に掲示し学校に周知を図っている。若年層の自殺は深刻な状況にある。中学生は気持ち不安定になりやすい思春期特有の問題を抱えた生徒が多い。誰にも相談できない時の心より処となるよう今後も周知に努めたい。



沢山の相談先があります。困ったらまず誰かに相談。

デマンド交通さくっと・福祉灯油・米価 大幅下落への対策について



こばやし まつこ
小林 松子

◆デマンド交通の課題・改善は

Q 自宅前の乗降について、来年度には全市に広げるべきではないか。

A 今後の実証運行の状況も確認しながら、引き続き検討する。

Q 交通量の多い道路上の停留所を変更できないか。

A 現在検討している。

Q 臼田・望月エリアで運行しているデマンド車両に、乗車用ステップを付けられないか。

A ステップの設置についても検討している。

◆福祉灯油の実施を

Q 低所得世帯に対する福祉灯油を実施できないか。

A 財源確保の見通しも立ったことから、福祉灯油を実施したい。住民税非課税世帯を対象に、1万円の助成事業を補正予算として上程する。

◆米価大幅下落への対策を

Q 余剰米の市場からの隔離など、



米価大幅下落により、後継者不足が一層広がると懸念される

実効ある対策を国に求められないか。

A 県では、需要減退分を海外援助米などとして、市場隔離することなどの対策を国に要請している。

Q 市としても、米を買い上げて学生や生活困窮者らに支給するなど、米の消費拡大対策を取れないか。

A 米粉パンの消費拡大や、「地産地消の店」を積極的に広報し、佐久市産米の活用を推進していく。

給食調理の民間委託、ゲノム編集農産物、佐久創造館について



しおかわ ひろし
塩川 浩志

◆給食調理の民間委託

Q 9月に行った栄養士、保育士ら現場職員のアンケートから見た課題と今後の対応方針は。

A 373人の回答（回収率92%）では「給食の質が下がる」「民間委託に反対」などの意見があった。課題は、委託のメリットが不明確、雇用条件への不安、アレルギーや離乳食など個別の対応が必要な園児に関する保育士と調理員の連携、園の畑で採れた野菜を給食で使う際の臨機応変な対応、作り手の顔が見える関係の構築など。調査を通じて、市民や現場職員にさらに充分理解してもらう必要があると判断しており、導入のタイミングはいったんとどまり再検討していく。

画も出ているが、市のゲノム編集農産物に対する認識は。

A 安全と判定しがたいものに関して慎重に対応する「予防原則」の姿勢は必要だと考える。市としては消費者へ適切な情報提供が重要なことから国の見解を注視していきたい。

◆佐久創造館

Q 県は閉鎖の方針だが、現在の利用者の相談対応は。

A 他施設の情報提供など、今後必要な情報の提供を丁寧に行っていく。

◆ゲノム編集農産物

Q 遺伝子操作技術であるゲノム編集農産物の苗を障がい児福祉施設や小学校で無償配布する計



・ごみ処理のあるべき方向性について
・白田地域小学校跡地利用について



みつし さとし
三石 知志

◆ごみ処理の方向性について

Q 「SDGs」や「佐久市気候非常事態宣言」（2050年までに

CO₂排出量実質ゼロ）、「プラスチック資源循環促進法」の観点から、新たにプラスチックを燃やすべきではないのではないか。

A 現時点では、国や県から具体的な方向性や方法が示されていない。今後、動向を注視していく。

Q 生ごみを燃やさず、堆肥化を市全体で行うべきではないか。

A 市全体の生ごみを処理する能力は堆肥製産センターになく、施設の新設は、地域の理解、建設コスト等の課題がある。

白田地域の家庭生ごみ等の堆肥化を継続しつつ、生ごみ処理機等購入費補助金制度の利用促進を行い、減量化に引き続き努めていく。

◆白田地域小学校跡地利用について

Q 地域からの移行・要望にどう対応するのか。



A

佐久市公共施設等総合管理計画を原則としながら、関係部署と連携調整を図り、方向性などを検討していく。

Q

様々な協議に市は積極的に関わるべきではないか。

A

廃校後、市の利活用が厳しい場合、地域や民間企業などの提案を聞き、検討する手順になっている。その際、地域主体の協議へ、必要に応じて参加する事を考えている。

デジタル・トランスフォーメーション
(DX)の推進について



わたなべ やすのり
渡辺 康徳

Q

佐久市における現在の取り組み状況について。

A

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）による業務効率化、Web会議の導入、LINEを活用した情報提供。県内自治体初となる電子クーポン「さく割電子クーポン」を開始。またソフトバンク（株）と「地域活性化事業連携協定」を締結し、同社からのDX推進アドバイザーの派遣。また若手職員で構成する「DX推進プロジェクトチームの立ち上げ等全庁的なりテラシー向上を図って行きたい。

Q

実施計画事業「行政DX推進事業」について。

A

既存の事務手法や組織の在り方をデジタル化に合わせ変革するため、最高情報統括責任者（CIO）である副市長を中心に全庁的な体制により推進。統計や業務データなどの政策立案

Q

を図るEBPM（エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング）に向けた、ビッグデータ活用・ツールの導入を実施していく予定。

Q

デジタル弱者に対する対応について。

A

内閣府の調査では、70歳以上の6割弱が「スマホを使っていない」との回答結果があり「デジタル弱者が大きな課題であり、デジタル弱者への丁寧な対応は不可欠であり、市独自の対策に取り組んでいく。



普通財産に指定された旧美笹自然観察園とワークテラス佐久について



しのはら つとむ
篠原 勤

◆普通財産（市管理）に指定された

旧美笹自然観察園の扱いについて

Q 観察園もファミリールランドと同様に撤去処分されるのか。

A 湿地性植物が豊富で貴重な植

生があるので市民の憩いの場として現在の状態を維持していく。

現在、ボランティアで観察園を保護、維持管理を続けている。草友会との関わりについて。

Q 「自然を守り植生を護って行きたい」とのお考えに配慮し、観察園の維持管理費に掛る費用は草友会が負担する代わりに使用料は無料でお貸しするという

ことで、ご理解いただいております。

◆「ワークテラス佐久」とは、又その機能と役割について

役割と目的・機能について。

「ワークテラス佐久」は一昨年

から「佐久情報センター」を自由にテレワークできるオープンスペースや、企業がサテライ

トオフィスとして活用可能な個室

また、ビジネス交流ができる総合型テレワーク拠点施設として改修オープンしました。

目的は移住・定住に繋がるテレワークによる街創りを通じて、地方創生の実現に資するためです。尚(株)JR東日本企画長野支店が指定管理者となっています。

機能を生かした支援事業とは。都市部の人材を地域資源・事業者との出会を提供し協働の事業をプロデュースしています。

◆その他の質問項目

・サテライトオフィスの現況

観察道が市民ボランティアによって整備されていて、佐久市内の生物多様性を直接体験できる場所になっています。

旧美笹自然観察園 ハンノキ林



観察道が市民ボランティアによって整備されていて、佐久市内の生物多様性を直接体験できる場所になっています。

3歳児健康診査での視覚検査、図書館の利用推進、投票率向上について



こばやし としはる
小林 歳春

◆3歳児健康診査での視覚検査について

Q 検査方法について。

A 視能訓練士が屈折度測定装置を用いて検査。受診率は99.3%

でそのうち精密検査が必要な割合は11.9%。

Q 検査後のフォロー体制は。

A 子供の視覚は生後3か月から6か月ぐらいいまでに急激に発達し、8歳くらいまで穏やかに発達する。屈折異常や斜視、眼疾患を早期に発見し治療をする事が重要。3歳児健康検査は目の異常を見つける初めての検診なので診査の重要性の周知や精密検査が必要な子供には早期に医療機関の受診を進める。

◆図書館利用の推進について

Q 市内5図書館の特徴は。

A 中央図書館は航空関係、山室文庫など多数の資料を所蔵。サングリモ中込は子育て世代の皆さま向けに絵本を多く収集。白

田図書館は星や宇宙、丸岡秀子に関する資料の収集。浅科図書館は農業に関する資料の収集。望月図書館は馬と書道に関する専門書を多数所蔵している。

Q 自動貸出機の導入は。

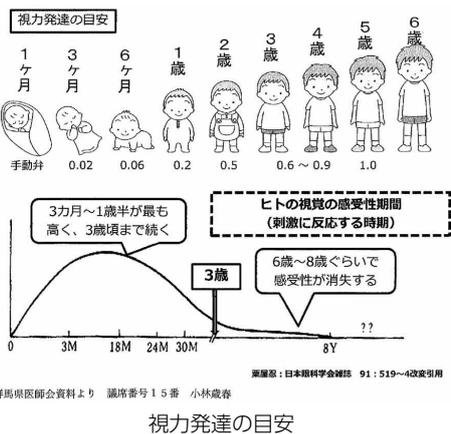
A 導入は前向きに検討する。

◆投票率向上のために

Q 期日前投票の入場券での実施の利便性について。

A 入場券の裏面の宣誓書に事前

に記入できるので投票手続きが容易になりスムーズに進む。



「佐久の先人」の事業実施状況と、「里道」の維持管理について



こばやし ひであき
小林 英朗

Q 「佐久の先人」を選定した経緯や人数、冊子の販売状況、事業実績について。

A 佐久の地域において「人」という切り口から、選定を行った。「佐久の先人検討委員会」によって選定されたのは、市川五郎兵衛を始め、53人。

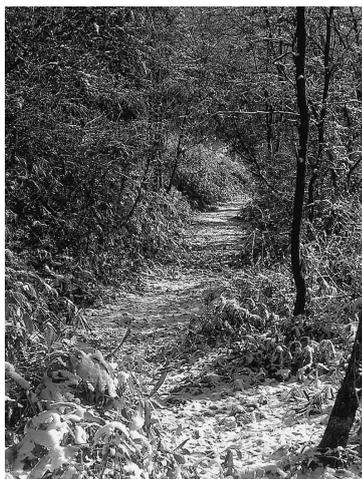
冊子は現在、第1集を2000部、第2集を750部、作成・販売しており、好評をいただいている。

PR状況については、①「読むこと、書くこと、行うこと」を「コスモスプラン」として教育理念の根っこに位置づけている②大型タペストリー作成して各施設に展示③大給恒顕彰事業④比田井天来・小琴顕彰佐久全国臨書展の開催⑤中央図書館で毎月講演会を実施⑥中央公民館の市民講座で竹内好の講演会を開催⑦こころのミュージカルの開催。市では引き続き関係部署

との連携を図りつつ郷土への愛着や誇りが高まるよう取り組みを進めていく。

Q 法定外公共物である「里道」の維持管理について。

A 法定外公共物である「里道」は概ね、市の所有ではあるが、市において認定外道路の維持管理を行うことは難しく、地域の皆様や隣接の地権者の皆様の協力をいただいている。なお、市が所有する土地であるので、崩落、通行の妨げがある場合、区長を通じて相談をいただき、状況に応じて、対応をしている。



峠の里道

重層的支援体制整備事業について 気候変動に対する取り組みについて



えもと のぶひこ
江本 信彦

◆重層的支援体制整備事業のメリットについて

Q 地域の状況が異なる3か所の地域包括支援センターで、複合化する課題について、現状を伺った。8050問題やひきこもりが多いという事、また高齢者への虐待など、複雑な問題を抱える住民がいる。この事業を行うメリットについて伺う。

A 本事業のメリットは、悩みや課題を抱える方に対して、スピード感をもっての対応、支援につながることや、関係者や関係機関と連携を図り支援することで、地域で人と人がつながるという相互作用が生じ、支援が効果的に機能すると考えている。

◆気象防災アドバイザーについて

Q 気象防災アドバイザーの取り組みについて、どのように認識しているか。

A 気象防災アドバイザーは、地域の気象と防災に精通する気象

台OBなどを国土交通省が委嘱し、自治体の防災業務を支援することで、地域防災力の強化につなげようとする方々である。令和3年4月1日現在では、全国で84名が、国土交通省より委嘱されている。長野気象台に、県内の気象防災アドバイザーの委嘱状況など聞いたところ、県内では2名が気象防災アドバイザーに委嘱されているが、二人とも、普段の仕事を持っており、現在、災害の発生が見込まれる際などに、紹介できるアドバイザーは不在と伺っている。



多くの力を重ね、包括的な支援を

議会と語ろう会

例年11月に実施していましたが、「議会と語ろう会」について、今年度は会場を本会議場として、2月19日に開催することといたしました。普段入場することができない本会議場でぜひ皆様の声をお聞かせください！

日時

2月19日(土) 午前10時00分
から正午まで

会場

佐久市役所 議会棟

内容

**第1部 議会報告（本会議場）
第2部 意見交換（議会棟内会議室）**

意見交換テーマ

「議員に求めるもの」他



令和元年度議会と語ろう会の様子

参加にあたっては、事前申込による先着30名様までとさせていただきます。お申込みは、電話、FAX又はメールで、お名前、電話番号をお知らせください。

※手話通訳・要約筆記を配置いたします。

※託児が必要な方は、令和4年2月7日(月)までにお申し込みをお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止とする場合があります。その場合、ホームページでお知らせするほか、申込者へは電話等で連絡いたします。

申込連絡先 電話 0267-62-3495（議会事務局） FAX 0267-62-7910 メール gikai@city.saku.nagano.jp

佐久市民の日 議場コンサートのお知らせ

佐久市議会では、佐久市民の日（3月9日）にあわせて、議会を身近に感じていただくため、議場コンサートを開催しています。入場無料（事前予約制）となっておりますので、ご都合をつけてお越しください。

日時 3月9日(水)

午後3時15分から4時15分頃まで

場所 佐久市役所議会棟 本会議場

内容 佐久市消防団音楽隊によるコンサート

出演 指揮：内田満さん

大工原一明音楽隊長、音楽隊の皆さん



出演が予定されている音楽隊の皆さん

●**予約について** 議場コンサートは、例年、大変に好評で混雑するため、全ての席（50席）を予約席としました。

申込期間：令和4年2月25日(金)～3月2日(水) 時間：午前8時30分～午後5時15分

申込方法：予約は電話、FAX又はメール（先着順）にて、お名前、電話番号と人数（お一人2席まで）をお知らせください。

※申込期間外に届いたFAX、メールは無効とさせていただきますのでご注意ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては中止とする場合があります。その場合、ホームページでお知らせするほか、申込者へは電話等で連絡いたします。

申込連絡先 電話 0267-62-3495（議会事務局） FAX 0267-62-7910 メール gikai@city.saku.nagano.jp

佐久市議会議員定数に関する市民アンケートにご協力をお願いします

佐久市議会では、議員定数に関して市民1,000人（無作為抽出）を対象にアンケートを実施することにしました。アンケートがお手元に届いた方は、ご協力をお願いします。

あなたも議会を 傍聴してみませんか。

★次の定例会（令和4年3月定例会）の日程（予定）は下欄のとおりです。

本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。

ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様態を撮影、録音することはできません。

聴覚に障害のある方で、議会の傍聴を希望される場合、手話通訳及び要約筆記を配置いたします。事前に申込みが必要になりますので、詳しくはホームページをご覧ください。



議会だより表紙 大募集中!!

佐久市内で撮影した
行事・風景などの
写真や、イラストを
募集中です。

次回5月1日発行号の
締切りは、3月31日まで
となっております。

詳細は、佐久市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。



今号も多数ご応募いただき
ありがとうございました。



上記に関する問い合わせ先

佐久市議会事務局

電話 0267-62-3495（直通）

次回定例会のお知らせ 【令和4年3月定例会】開催予定日

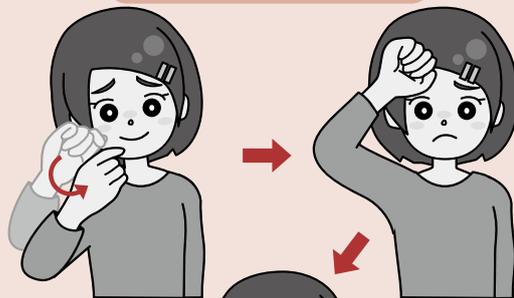
日	月	火	水	木	金	土
2月20日	2月21日	22	23	24	25	26
	本会議 (開会)					
27	28	3月1日	2	3	4	5
					本会議 (一般質問)	
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			本会議 (議案質疑) 委員会	
13	14	15	16	17	18	19
	委員会	委員会	委員会		委員会	
20	21	22	23	24	25	26
				本会議 (閉会)		

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

手話を学ぼう

～会話をしてみましょう～

難病支援



親指と人差し指で頬をつねるように返します。
【難しい】

こぶしを額にあてて2回軽く叩きます。
【病氣】

左手の親指を立て前に向け、右手の平で2回トントンと押し出します。
【助ける、手伝う、支援する】



YouTube佐久市議会チャンネルでも配信中

聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります



菊池 杏さん
(臼田小学校6年生)

佐久っ子の夢、応援します!

私の将来の夢は医師になることです。保育園の頃から思うようになり、今でも変わっていません。最近でも、新型コロナウイルス感染症の患者さんのために働いている医師の姿を見て、その気持ちがますます強くなりました。医師になったら病気で苦しんでいる大勢の人たちを救い、患者さんから信頼される医師になりたいです。

今、夢に向かって頑張っていることは、漢検・英検、パソコンのタイピングです。医師になるために必要なスキルを自分で考えて学んでいます。特に英検は海外でも活躍したいので頑張っています。

病気で苦しんでいる人が世界中からいなくなるくらいに地球を元気にするため、これからも夢に向かって頑張っていきます。

●議員研修会を開催しました

令和3年10月19日、大正大学社会共生学部の江藤俊昭教授を講師として、「議員定数の考え方と議論する仕組み作りと議会の課題ー「住民自治の根幹」としての議会を作動させるー」をテーマにオンラインによる研修を行いました。



WEB会議システムの表示画面

●WEB会議システムを使用した佐久市議会災害等対策連絡本部訓練を行いました

令和3年10月29日、佐久市議会業務継続計画（市議会版BCP）に定める防災訓練に基づき、感染症の蔓延下での災害対応訓練としてWEB会議システムによる佐久市議会災害等対策本部の訓練を行いました。

●高校生の就業体験（インターンシップ）を受け入れました

令和3年12月22日、佐久長聖高等学校の生徒2名の就業体験（インターンシップ）の受け入れを行いました。当日は、議会の仕組みについての研修のほか、会議録調整業務など議会事務局の業務体験をしていただきました。



●YouTube佐久市議会チャンネル「議会を傍聴しよう！」をアップしました

佐久市議会の傍聴の仕方について説明した動画を公開しました。ぜひご覧いただき、佐久市議会へ傍聴にお越しください。お待ちしております。



YouTube
佐久市議会チャンネル

